



News!



## (株)エコープ関東「JAファーマーズ富岡」がオープン

群馬県に全国21店目のファーマーズ型店舗

生活リテール部



JAファーマーズ富岡の外観と産直売り場

株式会社エコープ関東は2月9日、群馬県富岡市に「JAファーマーズ富岡」をオープンし、初日から4000人を超える来店客でにぎわいました。

同店は、同社8店目、全国では21店目の農産物直売所とスーパーマーケットを一体化した709坪の大型店舗（JAファーマーズ）ですが、同社では最大規模となる187坪の産直・り場、同社初となる産直・SM（スーパーマーケット）別棟方式とした意欲的な店舗です。

農産物直売所棟には、地

元JA甘楽富岡をはじめ県内JAの産直品、群馬県産のこだわり商品を品ぞろえし、地元新鮮野菜の天ぷらや釜ゆでうどんを楽しめる軽食コーナー「あぐりキッチン」、生地から手作りの天然酵母パンを販売する「Grandir（グランディール）」を設置、SM棟は、地元上州和牛はじめ畜産品、専門店のノウハウを生かした鮮魚の対面販売、地元原料を使用した総菜など、お客さまが地元産のおいしさや買い物をお楽しみいただけるお店づくりに努めています。

近くには世界遺産の富岡製糸場もあるので、ぜひ足を運んでみてください。

生活リテール部は「国産農畜産物の販売力強化」の実現に向け、JAファーマーズの新店を今後も進めていきます。

News!



## 全農東北プロジェクトFacebookページを開設!

東北6県のさまざまな情報を発信

東北営農資材事業所

全農東北プロジェクト（事務局：東北営農資材事業所）は2月5日、全農東北プロジェクトFacebookページを開設しました。

全農東北プロジェクトとは、東北6県（青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島）を一つの産地としてとらえ、各県本部が連携し、東北産農畜産物・加工品の販売力強化を図るプロジェクトで、2015年度から実施しています。

東北の食  
未来プロジェクト



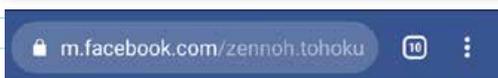
全農東北  
ZEN-NOH TOHOKU

皆さまのフォローと「いいね!」をお待ちしております。

Facebookはこちらから



Facebookページでは、日本最大の農業産出額を誇る東北地方の各県で力を合わせ、東北の魅力や、自慢の農畜産物をより多くの人に伝えていきます。また、東北6県のイベント、おいしいもの、お祭りなどの観光情報もどんどん発信していく予定です。



全農東北プロジェクト  
2月15日 15:58

【みのりみのるマルシェ S-PAL山形店のご紹介】

山形県の森です！  
よろしくお願ひします。  
さて、今回は全農山形県本部が運営する青果物販売店「みのりみのるマルシェ」のご紹介です！  
当店は山形駅の駅ビル「S-PAL」の1階フロアにあり、新鮮な地場農産物やギフト商品から、今話題の新品種「雪若丸」をはじめとする県産米を、お好みの米を搗き方にて店頭精米の販売も行っています。...その他



MINORIMIMORI ID

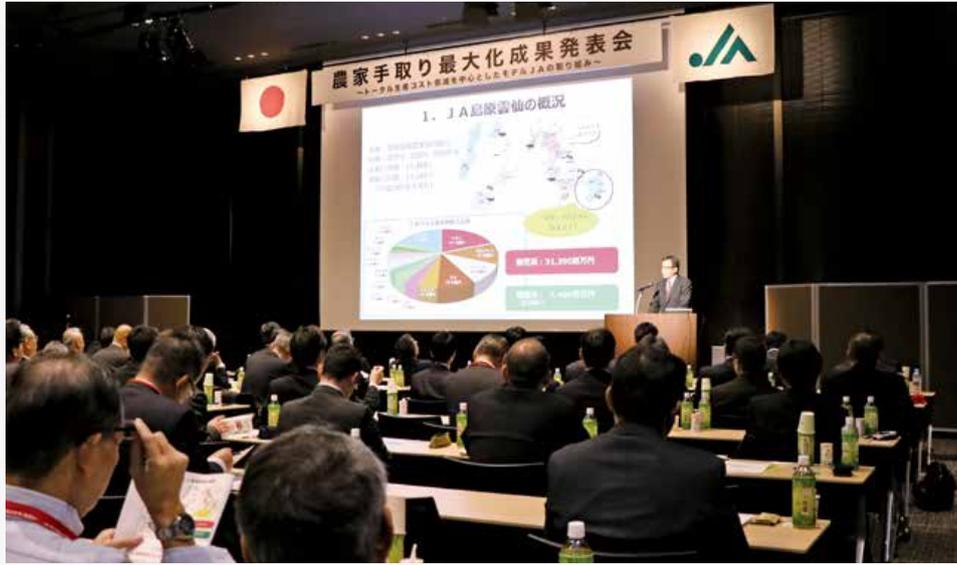
フォロー中

# モデル55 J Aによる農家手取り最大化で成果発表会を開催 水平展開に向けて取り組み共有

全農は2月7日、東京・御成門のベルサール御成門タワーで「農家手取り最大化成果発表会」を開催

タル生産コスト低減を中心としたモデルJ Aの取り組み」を開きました。成果発表会には、全国のモデル55 J A、県連、全農、関係機関などから約320人が出席しました。

【耕種総合対策部】



5J Aが取り組み成果を発表

## 発表タイトル

「再生産できる農業、未来へ続く農業」の実現に向けて



J A庄内みどり 経済部次長  
佐藤弘毅氏

神出元「理事長が「全てのモデルJ Aから参加いただきたい。これは、J A自己改革において農家手取り最大化の取り組みを真剣に取り組んでいただいている証である。その成果を共有し、農家手取りのさらなる向上のため、この取り組みを加

高生産性水田輪作モデル確立現地実証試験の成果報告



J A北びわこ 営農企画課長  
丸岡重幸氏

速化させたい」とあいさつしました。来賓の農水省の末松広行事務次官は、「地域振興のためには、何よりも農業の底堅く地元へ根付いた活動こそが重要である。本日の発表会での成果の共有が大きな意義を果たすと述べました。

いちご栽培における反収増加と所得向上



J A島原雲仙 企画指導課長  
林和昭氏

モデル55 J Aの中から、山形県J A庄内みどり、新潟県J A越後中央、滋賀県J A北びわこ、愛媛県J Aおちいまばり、長崎県J A島原雲仙の5 J Aが成果発表会を行い、農業規格の大型化や肥料の銘柄集約、園芸振興、品種転換、労働力支援など、地域の課題に応じた取り組みやその成果が紹介されました。また、

持続可能なしまなみ農業へレインボープランの取り組み



J Aおちいまばり 営農振興部長  
阿部和平氏

次期3か年については、より多くの農業者が効果を実感できるように「取り組み成果の水平展開」と「経営体の所得増大実証」の二つの柱で実践を加速させ、J Aグループ全体で農家手取り最大化に向け取り組んでいきます。

水稲地域での園芸導入による経営安定化と所得確保及びそれとともなうJ Aの対応力強化



J A越後中央 担い手支援班長  
奥田勝治氏

大規模営農モデル(83経営体)の取り組みとして、園芸作物や輪作体系の導入による所得増大や、労働費低減に向けた新技術やICTの活用など、農家の手取り最大化に向けた最前線での実践成果が発表されました。



「世界とつなぐ！」を

合言葉に日本産

農畜産物輸出

ナンバーワン商社を

目指す

海外営業拠点を活用した輸出の  
バリエーションを構築  
日本の生産者と海外の消費者をつなぐ

JA全農インターナショナル株式会社は平成29年4月から、全農グループの輸出商社として生まれ変わり、全農グループ各社やJA・経済連と連携して、日本産農畜産物の輸出拡大に取り組んでいます。同社は、海外5カ所の営業

拠点を活用してさまざまな国のニーズを把握し、新たな需要の掘り起こしとバリエーションの構築を進めています。同社の輸出実績は発足2年で1・5倍となる見通しで、5年後には発足前の4倍に拡大する目標を掲げています。

## 全農グループ輸出ネットワーク



新

産地と一体となった新たな  
需要の開拓により輸出された商品



JAのみ信州の「市田柿」をベトナムへ初めて輸出し試食販売会を実施



JAのみ富士の「近江のもち麦」を台湾へ初めて輸出し健康食品通販サイトで販売



北海道北見市のハラル牛肉を中東のアラブ首長国連合へ初めて輸出し現地でマーケティングセミナーを実施



全農ブランド「お米のミルク」を初めて香港へ輸出し大手量販店で試飲販売を実施



栃木県本部と協力し「にっこり梨」をインドネシアへ初めて輸出



停止されていた中国向け新潟県産米輸出を8年ぶりに再開

創

バリニューチェーンにより  
付加価値を高めたマーケティング



台湾大手百貨店での日本産食材の直売ブース開設



和牛を使った米国PZFF社での和牛串製造とロンドン高級中華料理店シェフ向けに実施したマーケティングレクチャー



香港最大手ネット通販サイトで全農ページを開設しての日本産米と加工品の販売



日本産の米ときゅうりを原料にイギリスで製造している米ビールときゅうりジン

挑

新たな取り組み



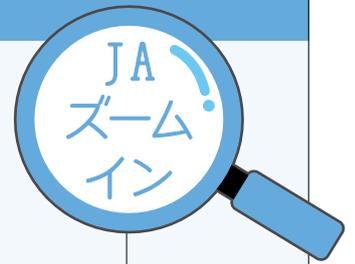
米国名門調理師学校で和牛講座を開講



カーリング日本代表の海外遠征に日本産食材を使用した食事提供を支援



香港市街中心部の地下鉄駅構内に、日本産農畜産物をPRする石川選手の広告を掲出



# 村とJAがサポートしカボチャの

# グローバルGAP認証を取得



## JA大潟村(秋田県)



概要		平成30年3月31日現在
正組合員数		1080人
准組合員数		41人
職員数		62人
販売品取扱高		1億円
購買品取扱高		37億4千万円
貯金残高		295億3千万円
長期共済保有高		597億3千万円
主な農産物		米、大豆、カボチャ、花き、メロン、小麦、ニンニク、タマネギ

JA大潟村は、自己改革の具体的取り組みのうち、「農業者の所得増大」「農業生産

の拡大」の一環として、「食の安全・安心対策としてのグローバルGAP認証取得」に取り組んでおり、JAの農産部会の一つである「特産かぼちゃ生産組合」の会員2人がグローバルGAP認証を取得しました。

### 生産者の年齢若く勢いある「特産かぼちゃ生産組合」

1976年からカボチャ栽培に取り組んでいる「特産かぼちゃ生産組合」は現在、生産者63人と青年組織2団体からなり、生産者の平均年齢が若く、作付面積が年々増加傾向にある農産部会の中で最も勢いのある組織です。現在栽培している「くり大將」という品種は、風害に強い大玉品種で、着果後45日程



「特産かぼちゃ生産組合」の組合員

度で収穫できる早生種です。収穫直後から糖度が非常に高く、食味がいいのが魅力の一つです。

生産組合の吉原忍組合長と菅原史夫さんは、「大潟村産カボチャの認知度向上、販

路や生産拡大の一助になればとグローバルGAP認証の取得を目指した。費用面などのハードルが高かったが自分たちが認証取得に挑戦することで、生産組合内や村内にも取り組みが広がって「いけば」と意欲を示し、村とJAが支援しました。

このうちJAでは、①グローバルGAP認証取得費用の半額助成②審査に必要な書類整備のサポート③審査がスムーズに行われるよう営農指導担当職員の審査立会——などの支援を行いました。

### メロン、タマネギなど高収益作物生産にも力

JAでは現在、従来の稲作だけでなく、カボチャやメロ

ン、タマネギなど、高収益作物の生産振興に力を入れています。組合員の所得増大と農業生産の拡大のため、より一層取り組みの強化に努めます。



カボチャ「くり大將」



畑で生育するカボチャ

グローバルGAP認証の証明書を持つ「特産かぼちゃ生産組合」の吉原忍組合長(左)と菅原史夫さん



# だより 県本部

長崎県本部



## 配合飼料銘柄集約で コスト低減を实践

長崎県JA配合飼料等コスト低減プロジェクト展開

長崎県の農業の中で、畜産は農業産出額の30%を占

め、特に肉用牛は第1位の産出額を誇る基幹的作物で

す。

その代表として、「長崎和牛」は、平成24年全共長

崎県大会「肉牛の部」で、内閣総理大臣賞（日本一）を受賞しました。さらに、平成29年全共宮城県大会では特別賞「交雑脂肪の形状賞」を獲得し、国内はもとより海外においても品質の高さが評価されています。

**JA、飼料・販売会社、県本部の実務者でプロジェクトスタート**

現在、「長崎和牛」生産を取り巻く環境は、肥育用素牛や生産費などの高騰など過去に経験したことのない厳しい環境にあり、平成29年6月、長崎県本部運営委員会で、実務者段階でのコスト低減に関するプロジェクト立ち上げについ

て、組織代表者の総意として確認されました。同年7月に「長崎県JA配合飼料等コスト低減プロジェクト」を発足し、JA担当部課長・飼料会社・販売会社・長崎県本部の実務者を構成員として、コスト低減に関する協議・実務を行っています。

プロジェクトの活動は、まず生産者へアンケートを実施し意思確認をしました。その結果、約80%の生産者が配合飼料の銘柄集約へ協力する旨の意思表示が

あり、その内の約90%が分量の変更なく価格を引き下げることを条件としていました。

**9月から新規設計配合飼料給与の試験牛出荷し枝肉検証**

これを踏まえ、配合飼料銘柄集約を目標に生産者の協力の下、新規設計配合飼料を用いた比較試験を実施することになりました。配合飼料については、現段階で考えられる最新の配合設計で、さらに長崎県が推奨する「長崎型新肥育技術」給与体系に基づき試験を実施し、長崎和牛の資質向上に取り組みんでいます。



新規設計配合飼料を用いた試験給与

今後、平成31年9月頃から試験牛を出荷し枝肉の検証を行い、最終目標である配合飼料銘柄集約によるコスト低減と長崎和牛の資質向上と販売力の経営安定を目指しています。



プロジェクトの経過報告会

# JA全農チビリンピック2019 こどもの日に今年も開催 競技、イベント盛りだくさん 参加者募集中

全農が特別協賛するスポーツの祭典「JA全農チビリンピック」(主催:日刊スポーツ)が、今年も「こどもの日」の5月5日、横浜市港北区の日産スタジアムなどで開催されます。【広報部】



昨年のミニマラソン



自慢の俊足を競い合う

恒例の親子マラソンやミニマラソンなど、家族で楽しめる競技やさまざまなイベントが盛りだくさん。各競技種目への参加者募集を開始しています。

また「JA全農杯全国小学生選抜サッカー決勝大会」を行うため、現在各地区で予選大会が開かれています。

今年もゲストとしてシドニー五輪メダリストの高橋尚子さんや元サッカー日本代表の北澤豪さん、アテネ・北京五輪メダリストの浜口京子さんやアニマル浜口さんから豪華なゲストをお招きする予定です。

ぜひ、この機会に家族でご参加ください。

開催日 **5月5日** 日

会場 **日産スタジアムほか**

JA全農チビリンピックのホームページはこちらから  
<http://www.chibirinpic.com/>



お問い合わせ

JA全農  
チビリンピック事務局  
TEL03(6262)2869



JA全農  
オフィシャル  
アプリ



「食と農」の情報を広く消費者へ!  
スマホアプリを公開中

JA全農のイベントや新商品に関する最新情報がさらに充実!

作動環境: スマートフォン iOS8以上 Android4.3以上



JAタウン  
ショップ紹介

JAタウン | 検索  
クリック

JA全農ながさき



JAタウンは  
こちらから



長崎ゆめのか(イチゴ) 1箱大玉約270g入り2パック……2350円

長崎県よりとってもジューシーでおいしいイチゴ「ゆめのか」をご紹介します!!

長崎の温暖で日当たりのよい畑で育った「ゆめのか」は大粒で鮮やかな赤色! たっぷりの果汁は甘く、糖度と酸味のバランスが良いのが特長です。果皮がしっかりとしているため、傷みにくいのでご贈答用としても安心してお使いいただけます。

長崎が自信をもってお届けする「ゆめのか」を、ぜひ、ご賞味ください。PRキャラクター「ゆめずきんちゃん」が目印です。

なお、ご紹介した商品は、3/22(金)まで、FAXでもご注文を承ります(ご自宅宛代金引換のみ)。\*天候などによりご希望に沿えない場合があります。

【ご注文方法】①商品名、規格、数量②郵便番号③住所④氏名⑤電話番号⑥FAX番号をご記入のうえ、FAX番号03-5218-2517までご送信ください。商品代金の他、クール代、お届け先により送料がかかります。

JA全農のインターネットショップモール ▶ご注文は <http://www.ja-town.com>  
▶お問い合わせは [shop@ja-town1.com](mailto:shop@ja-town1.com)

\*本誌を通じていただいた注文などで取得した個人情報、商品等の発送にのみ使用します。